

年間授業計画

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科

農業 科目 農業と環境

教科：農業

科目：農業と環境

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：(A組) 井原 賢征 高橋 祐一 松井 英美)

使用教科書：(実教出版「農業と環境 新訂版」)

教科 農業

の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境

の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について、基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①農業と環境を学ぶ 【知】農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けられるようにする。 【態】農業と環境の学び方について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。 ②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決させる。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組ませる	・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響しあう関係にある事を理解させる。 ・農業の学び方に興味関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動内容を理解させ、取り組む意欲と態度を身に付けさせる ・作物や家畜にの特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について科学的にとらえ、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、課題を整理し解決に向けた具体的な取り組みを考え、レポート等で表現できるようにする。 ・作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する基礎的な知識を身に付けさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。	【知】農業と環境の学び方、および学校農業クラブについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けているか。 【態】農業と環境の学び方、および学校農業クラブ活動について、主体的、協働的に取り組んでいるか。 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組んでいるか。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	①私たちの暮らしと農業、農村 【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けられるようにする。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決させる。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。 ②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決させる。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組ませる。	・人間他の生物との関係、農業の社会的役割と環境、暮らしとの関係について関心を持ち、解決しようとする意欲と態度を身に付けさせる。また、職と農業の現状や動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び、探究しようとする意欲と態度を身に付けさせる。 ・人間他の生物との関係、環境と農業、生活に関する課題の解決を目指し、思考を深めさせ基礎的な技術や知識をもとに合理的に判断し課題や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 ・プロジェクト実施の意義、方法について理解させ、実施に対する興味関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクト実施にあたって、計画の立て方、農業生産工程管理、栽培飼育環境の管理と評価について理解させる。 ・環境に関するプロジェクトにおける調査活動やプロジェクトの分野について理解させる。	【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けているか。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できるか。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組んでいるか。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>①私たちの暮らしと農業、農村</p> <p>【知識及び技術】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付けられるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。</p> <p>②農業と環境のプロジェクト</p> <p>【知識及び技術】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、および方法と進め方を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】プロジェクト学習に主体的、協働的に取り組ませる。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等 	<p>【知識及び技術】</p> <p>①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。</p> <p>②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。</p> <p>③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。</p> <p>②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。</p> <p>③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①動物に関心を持ち、主体的かつ協働的に実習に参加している。</p> <p>②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心を持ち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。</p>	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
						合計	105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科： 農業 科目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当者： (A組： 橋本、松井、山田)

使用教科書： (畜産 (実教出版)、動物看護学 (緑書房))

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	動物管理 (イヌ、ニワトリ) (ネズミ類、ウサギ、モルモット) 動物各論 (モルモット) (フェレット) 圃場整備 (樹木の剪定①) (除草について) 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理 (イヌ、ニワトリ) (ネズミ類、ウサギ、モルモット) 動物各論 (モルモット) (フェレット) 圃場整備 (樹木の剪定①) (除草について) 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理 (イヌ、ニワトリ) (ネズミ類、ウサギ、モルモット) 動物各論 (モルモット) (フェレット) 圃場整備 (樹木の剪定①) (除草について) 【知識及び技術】 ①実習場において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	動物管理 (チンチラ、デグー、小鳥) (ハ虫類、サル) 動物各論 (ハムスター) (ウサギ) 圃場整備 (樹木の剪定②) (刈払い機使用法) 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理 (チンチラ、デグー、小鳥) (ハ虫類、サル) 動物各論 (ハムスター) (ウサギ) 圃場整備 (樹木の剪定②) (刈払い機使用法) 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理 (チンチラ、デグー、小鳥) (ハ虫類、サル) 動物各論 (ハムスター) (ウサギ) 圃場整備 (樹木の剪定②) (刈払い機使用法) 【知識及び技術】 ①実習場において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学期	<p>動物管理（ゾウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【知識及び技術】 飼育動物や植物について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>動物管理（ゾウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等</p>	<p>動物管理（ゾウガメ、アヒル） 動物各論（小鳥） 圃場整備（果樹の剪定） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物や植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物や校内の植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。</p>	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教科：農業 科目：飼育と環境 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：（A組：才藤佳代、井原賢征、高橋祐一、橋本夏奈）

使用教科書：（文科省「飼育と環境」、実教出版「農業と環境」）

教科 農業の目標：

- 【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育環境の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>単元「動物の飼育管理」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス）気候因子について（温度・湿度・風速） ④講義：栄養と飼料 実習：動物の飼育管理（ニトリ、ウサギ）物理・科学的因子について（換気・臭気・照明・音）住居因子について（ケージ環境） ⑤講義：動物性飼料 実習：動物の飼育管理（ヨム、イノコ）物理・科学的因子について（換気・臭気・照明・音）住居因子について（ケージ環境） ⑥講義：植物性飼料 実習：動物の飼育管理（ウシ・ブタ）物理・科学的因子について（換気・臭気・照明・音）住居因子について（ケージ環境） ⑦講義：動物に適する飼育器材 実習：動物の管理方法（ウサギ、モルモット）生物因子について（同種動物、異種動物）</p>	<p>【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	34
<p>2 学 期</p> <p>単元「産卵鶏の飼育」 【知識及び技術】 農業を畜産業の視点から理解するとともに、各産業動物にあった適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育と環境に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育と環境に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 ⑨講義：ニワトリの品種について 実習：大びなの観察 ⑩講義：ニワトリの体の構造・骨について 実習：大びなの観察 ⑪講義：品種による成長の違い 実習：大びなの観察 ⑫講義：卵のできる仕組み・構造について 実習：成鶏の観察 ⑬講義：畜産のまとめ</p>	<p>【知識・技術】 ①産卵鶏に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。（観察・レポート） ③産卵鶏の生理生態を理解し、説明することができる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①産卵鶏の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②産卵鶏の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②産卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	34
<p>単元「動物の飼育管理」 【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 ①講義：動物飼育の心構え、日常の飼育管理と点検 実習：動物の飼育管理（ウシ、ブタ）気候因子について（温度・湿度・風速） ②講義：日常の飼育管理の留意点 実習：動物の飼育管理（フェレット、モルモット）気候因子について（温度・湿度・風速） ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、マウス）気候因子について（温度・湿度・風速）</p>	<p>【知識・技術】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	34

3 学 期	<p>単元「動物の飼育管理」</p> <p>【知識及び技術】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】</p> <p>⑦講義：動物に適する飼育器材 実習：動物の飼育管理（ワサギ、モルモット）生物因子について（同種動物、異種動物）</p> <p>⑧講義：飼育器材の消毒 実習：動物の飼育管理（サル、爬虫類）</p>	<p>【知識・技術】</p> <p>①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート）</p> <p>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート）</p> <p>③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト）</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート）</p> <p>②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察）</p> <p>②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科：農業 科目：総合実習 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：才藤、松井、山田）

使用教科書：（畜産（実教出版）、動物看護学（緑書房））

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（爬虫類） グルーミング（イヌ） 実験基礎（実験器具の扱い） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
2 学 期	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	アクアリウム（魚類・水草） グルーミング（小動物） 実験基礎（顕微鏡） 【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	44
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (イヌのクリッカー トレーニング) 実験基礎 (土壌生物の観察)</p> <p>【知識及び技術】 飼育動物や生物実験について理解 するとともに、管理技術を身に付け ている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題 を発見し、合理的かつ創造的に解決 する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報 や技術の収集について自ら学び主体 的かつ協働的に取り組む態度を身に 付けている。</p>	<p>アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (イヌのクリッカー トレーニング)</p> <p>【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的 に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解 させる。</p> <p>【教材】 ・教科書等</p>	<p>アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (イヌのクリッカー トレーニング)</p> <p>【知識及び技術】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定 し、安全面と衛生面に留意して使用す ることができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、 その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容 を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述して いる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞ れに適した環境をつくり、臨機応変に管理す ることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を 発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、 その結果をもとに考察し、自分の考えを表現す ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習 に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味 関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに 記述している。</p>	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 農業 科目 飼育と環境

教科：農業 科目：飼育と環境 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～

教科担当者：（A組：井原 賢征 高橋 祐一 松井 英美）

使用教科書：（実教出版「飼育と環境 新訂版」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	飼育と環境に対する課題を発見し、動物由来感染症について合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	飼育と環境について農業生物の飼育や管理に活用できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>単元「動物の飼育管理」</p> <p>【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】</p> <p>①講義：動物飼育の心構え、日常の飼育管理と点検 実習：動物の飼育管理（ス、プ）気候因子について（温度・湿度・風速） ②講義：日常の飼育管理の留意点 実習：動物の飼育管理（フェレット、モルモット）気候因子について（温度・湿度・風速） ③講義：健康状態の把握 実習：動物の飼育管理（ハムスター、ウサギ）気候因子について（温度・湿度・風速）</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	12
	定期考査				○	○	
2 学期	<p>「動物の飼育管理」</p> <p>「ウイルスによる動物由来感染症」</p> <p>【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】</p> <p>①講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの基本的な感染症の種類について 実習：動物の飼育管理 ②講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療について 実習：動物の飼育管理 ③講義：狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療について 実習：動物の飼育管理</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート）</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができる。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができています。（観察・レポート）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	13
	定期考査				○	○	

3 学 期	<p>「動物の飼育管理」 「細菌・真菌による動物由来感染症」 【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあった飼育管理方法を理解するとともに、適切な飼育管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物飼育の情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 ①講義：オウム病やサルモネラ菌など、身近な感染症について治療や予防について 実習：動物の飼育管理 ②講義：真菌・細菌による感染症の種類、特徴、対策について 実習：動物の飼育管理</p>	<p>【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。（観察・レポート） ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。（観察・レポート） ③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。（単元テスト） ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。（レポート） 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。（観察・レポート） ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。（観察・レポート） 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。（観察） ②各動物及びその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。（レポート）</p>	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	
							合計	35

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 農業 科目 畜産

教科： 農業 科目： 畜産 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 学年 A 組

教科担当者： (A組：才藤佳代、橋本夏奈)

使用教科書： (実教出版「畜産」)

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 畜産 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
動物の生態・生理および動物看護について 【知識及び技能】 イヌの生態や体の構造を学び、イヌに関する知識を身に付けるとともにイヌの血液検査や予防接種を通してイヌの扱い方や保定の方法など動物看護の技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な体験を通じて自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 動物の飼育や動物の看護に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う	【指導事項】 ・動物の体の構造、健康管理の方法について実践的に身に付けさせる。 ・獣医師や動物看護師による予防接種、血液検査、フィラリア予防の講義及び実習 【教材】 ・図鑑類 ・参考資料等	【知識・技能】 ①イヌの扱い方について適切な方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート) ②実習場面において適切な道具を選定し、使用することができる。(観察・レポート) ③イヌの特性や習性について理解し、その行動や変化について説明できる。(単元テスト) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①イヌの生態や行動を理解し、原因や今後の対応について考察している。(観察・レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①対象動物であるイヌに関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)				
1 学期 単元「動物の栄養と飼料」 【知識及び技能】 動物の栄養と飼料について理解するとともに、各作物にあった適切な栽培管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 動物の栄養と飼料に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の栄養と飼料に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	【指導項目】 ①講義：動物の飼料について 実習：作物の栽培・管理 ②講義：栄養素について 実習：作物の栽培・管理 ③講義：動物の食性・採食パターンについて 実習：作物の栽培・管理 ④講義：ペットフードについて 実習：作物の栽培・管理 ⑤講義：エネルギーについて 実習：作物の栽培・管理 ⑥講義：各ライフステージにおける栄養について 実習：作物の栽培・管理 ⑦講義：嗜好性について 実習：作物の栽培・管理	【知識・技能】 ①各作物に適した栽培管理方法を行うことができる。(観察・レポート) ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート) ③動物の栄養と飼料を理解し、飼料の分類・栄養素について説明することができる。(単元テスト) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①動物の栄養と飼料を理解するとともに、動物の栄養と飼料の関係性を考察し、自分の考えを表現することができる(観察・レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)	○	○	○	39
定期考査			○	○		1

	<p>動物の生態・生理および動物看護について</p> <p>【知識及び技能】 イヌの生態や体の構造を学び、イヌに関する知識を身に付けるとともにイヌの血液検査や予防接種を通してイヌの扱い方や保定の方法など動物看護の技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な体験を通じて自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物の飼育や動物の看護に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う</p>	<p>【指導事項】 ・動物の体の構造、健康管理の方法について実践的に身に付けさせる。</p> <p>・生殖器系 ・運動器系 ・呼吸器系 ・循環器系</p> <p>【教材】 ・図鑑類 ・参考資料等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①イヌの扱い方について適切な方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場面において適切な道具を選定し、使用することができる。(観察・レポート)</p> <p>③イヌの特性や習性について理解し、その行動や変化について説明できる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①イヌの生態や行動を理解し、原因や今後の対応について考察している。(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①対象動物であるイヌに関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>				
2 学 期	<p>単元「動物の栄養と飼料」</p> <p>【知識及び技能】 動物の栄養と飼料について理解するとともに、各作物にあった適切な栽培管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物の栄養と飼料に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物の栄養と飼料に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 講義：動物の栄養と飼料について 実習：植物の播種および栽培管理 ・動物に与える植物の栽培管理 ・乗用トラクタの構造・運転・耕うん</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①各作物に適した栽培管理方法を行うことができる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>③動物の栄養と飼料を理解し、飼料の分類・栄養素について説明することができる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①動物の栄養と飼料を理解するとともに、動物の栄養と飼料の関係性を考察し、自分の考えを表現することができる(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②動物の栄養と飼料に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元「動物看護および解剖生理のまとめ」 「栄養飼料のまとめ」</p> <p>【知識及び技能】 農業を畜産業の視点から理解するとともに、各動物にあった適切な知識および飼育管理技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物の飼育に対する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物の生態および飼育に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導項目】 講義：動物の飼育に関するまとめ ・イヌの取り扱い方、構造、生態、生理 ・動物の消化の仕組みおよび食性について 実習 ・イヌの健康管理(体重測定・体温測定)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①イヌの健康管理に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>③イヌの生理生態を理解し、説明することができる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①イヌの健康管理に適した飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。(観察・レポート)</p> <p>②イヌの生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①イヌ及びその他の動物の飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②イヌ及びその他の動物の飼育管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 農業 科目 生物活用

教科： 農業 科目： 生物活用 単位数： 2 単位

対象学年組：第 学年 A 組

教科担当者：：才藤佳代、井原賢征、高橋祐一

使用教科書：（農文協「生物活用」、緑書房「動物看護学」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する総合的な課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 生物活用 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」</p> <p>栽培実習 「キノアの栽培」</p> <p>動物の飼育管理実習（イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチの飼育管理）</p> <p>【知識及び技術】 飼育動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物について理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーフードとして注目されているキノアの栽培や活用を通して食糧問題や環境問題について自己の理解を深め、問題解決能力を身に付けさせる。 ・動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチの管理方法、栽培植物の正しい栽培方法について実践的に身に付けさせる。 ・動物の生態や環境について理解させる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等 ・ICT端末を活用 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大連携授業として 大学教授の講義を月1回実施する。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①それぞれの動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動物イヌ、ブタ、ニワトリ、ヨウム、インコ、フィンチや栽培植物に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物イヌ、ブタや栽培植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。 	○	○	○	29
定期考査			○	○		1
<p>2 学 期</p> <p>単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物の栽培と活用 キノアの栽培（取種と圃場整備） 動物の飼育管理実習（サル、ブクモモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラ） <p>飼育動物サル、モモンガや栽培植物キノアについて理解するとともに、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物サル、モモンガの管理方法、栽培植物キノアの正しい栽培、取種方法について実践的に身に付けさせる。 ・動物の生態や環境について理解させる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等 ・ICT端末を活用 <p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物ネズミ、ハムスター、チンチラの管理方法、栽培植物ヘチマの取種後の活用方法を実践的に身に付けさせる。 ・動物の生態や環境について理解させる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等 ・ICT端末を活用 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大連携授業として 大学教授の講義を月1回実施する。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①それぞれの動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアの特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動物の飼育環境や栽培植物キノアの生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②動物サル、モモンガ、ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物キノアの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。 	○	○	○	29
定期考査			○	○		1

3 学期	<p>単元「園芸作物の栽培と利用」</p> <p>【動物の飼育管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園芸作物の栽培と活用 キノアの活用（加工、塗装） 動物の飼育管理実習（爬虫類） <p>飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマについて理解するとともに、飼育管理及び栽培活用技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>飼育動物爬虫類や栽培植物ヘチマに関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物爬虫類の管理方法、栽培植物キノアの収穫後の活用方法を実践的に身に付けさせる。 動物の生態や環境について理解させる。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書等 ICT端末を活用 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> それぞれの動物カメラ、ヘビ、トカゲや栽培植物キノアに適した収穫後の作業を実践し、その内容を説明することができる。 実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 動物カメラ、ヘビ、トカゲや栽培植物キノアの特徴や習性について理解し、その内容を説明することができる。 レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 動物の生態や動物の行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 飼育動物カメラ、ヘビ、トカゲや栽培植物キノアに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 動物カメラ、ヘビ、トカゲや栽培植物キノアに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 動物カメラ、ヘビ、トカゲや栽培植物キノアの生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
						合計	70

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 農業 科目 環境調査

教科: 農業 科目: 環境調査 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~

教科担当: (A組: 井原 賢征 高橋 祐一 松井 英美)

使用教科書: (樹木・草花などの図鑑 水生生物や鳥類の図鑑 自作プリント)

教科 農業

の目標:

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 環境調査

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物観察について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。	生態系の機能や構造に対する課題を発見し、現状の確認および現状について合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	環境調査について安全に配慮した調査方法を検討したり、社会的環境の側面から検討するなどよりよい方法を考え出そうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>生物の観察・水中の微生物・水質検査 地球の歴史・人間と環境問題・生態系の構造と機能について</p> <p>【知識及び技能】 自分自身を取り巻く環境に関する事象・現象に対して意欲的に関わり、環境に対する豊かな感受性や探究心を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然や現象の中から自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 環境に関する問題に関して自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う</p> <p>定期考査</p>	<p>【指導項目】</p> <p>①講義: 人間の誕生による地球環境の変化 実習: 各種調査・観察の留意点を理解させる。生物観察の知識と技術を習得させる。</p> <p>②講義: 校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習: 水中の微生物の同定方法の知識と技術を習得させる。水質検査の方法や目的を理解させる。</p> <p>③講義: 日本国内における生態系の遷移。現状の確認及び改善策 実習: 水中の微生物の同定方法の知識と技術を習得させる。水質検査の方法や目的を理解させる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察・レポート)</p> <p>③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(</p>	○	○	○	27
<p>2 学 期</p> <p>生物の観察、花粉の観察、土中の小動物調査、種の散布、木の葉の実物標本づくり、動物による環境変化</p> <p>【知識及び技能】 生物観察の知識と技術を習得させる。各種調査・観察の留意点を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然や現象の中から自ら環境に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物による環境変化や相互作用について自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく実践力を培う</p> <p>定期考査</p>	<p>【指導項目】</p> <p>①講義: 環境的要素・生物的要素・食物連鎖・ニッチ・植物群落、校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習: 植物・昆虫・野帳・花粉の観察</p> <p>②講義: 植物による土壌環境の変化、環境変化に伴う生物の適応 実習: 植物・昆虫野鳥の観察 土中小動物の観察、種子の観察・標本作製</p> <p>③講義: 動物の環境適応の法則 森林海のつながり、海洋の生態系(海岸・珊瑚礁・干潟) 実習: 種子の観察、種子の標本作製</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察・レポート)</p> <p>③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	29
<p>3 学 期</p> <p>生物の観察、野鳥の内容物調査 生き物プレゼンテーション、環境汚染と生物</p> <p>【知識及び技能】 自然度を客観的に判断できる能力を習得させる。自然保護に対する知識を習得させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然保護に関する問題を見出して多面的・総合的に解決に導く能力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然度による環境変化や相互作用について自ら責任ある行動をとり、協力しながら問題を解決していく</p> <p>定期考査</p>	<p>【指導項目】</p> <p>①講義: 人間活動が及ぼす環境への影響、校内の生物とその環境についてのフィールドワーク 実習: 野鳥観察、昆虫観察</p> <p>②講義: 土壌、森林、河川、海洋汚染の現状、汚染防止に向けた取り組み 実習: 事例による学習</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)</p> <p>②実習場において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察・レポート)</p> <p>③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)</p> <p>④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。(観察・レポート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)</p> <p>②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポート)</p>	○	○	○	11
<p>1</p> <p>合計</p> <p>70</p>			○	○		1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 農業 科目 生物活用

教科：農業 科目：生物活用 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（A組：山田僚太、橋本夏奈）

使用教科書：（生物活用（美教出版））

教科 農業 の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 生物活用 の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学期	<p>単元「イヌの飼育管理」 「家畜の生殖器と性ホルモン」</p> <p>【知識及び技術】 イヌについて理解するとともに、飼育管理を身に付けている。 家畜の生殖器や性ホルモンの働きについて体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イヌや家畜の生殖器に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イヌや家畜の生殖器に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】 ・イヌの飼育管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・家畜の生殖器の構造と各部名称、性ホルモンの働きについて理解させる。</p> <p>【教材】 ・教科書 ・参考資料等 ・ICT端末を活用</p>	<p>【知識・技術】 ①イヌに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③家畜の生殖器の構造と各部名称、性ホルモンの働きについて理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動物の生態や行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③家畜の生殖器や性ホルモンに関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①イヌに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②家畜の生殖器の構造と各部名称、性ホルモンの働きに興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。</p>	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>単元「人と動物との関わり」 「家畜人工授精」</p> <p>【知識及び技術】 イヌについて理解するとともに、飼育管理を身に付けている。 家畜の人工授精について体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イヌや家畜の人工授精に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イヌや家畜の人工授精に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】 ・人とイヌとの関わりについて実践的に身に付けさせる。 ・家畜の人工授精の原理や手順について理解させる。</p> <p>【教材】 ・教科書 ・参考資料等 ・ICT端末を活用</p>	<p>【知識・技術】 ①イヌに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③家畜の人工授精について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動物の生態や行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③家畜の人工授精に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①イヌに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②家畜の人工授精に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。</p>	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>単元「人と動物との関わり」 「家畜の受精卵移植」</p> <p>【知識及び技術】 イヌについて理解するとともに、飼育管理を身に付けている。 家畜の受精卵移植について体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イヌや家畜の受精卵移植に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イヌや家畜の受精卵移植に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>【指導事項】 ・人とイヌとの関わりについて実践的に身に付けさせる。 ・家畜の受精卵移植の原理や手順について理解させる。</p> <p>【教材】 ・教科書 ・参考資料等 ・ICT端末を活用</p>	<p>【知識・技術】 ①イヌに適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③家畜の受精卵移植について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に適切な管理をすることができる。 ②動物の生態や行動を理解し、観察を行い異常を発見して対応することができる。 ③家畜の受精卵移植に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①イヌに関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加している。 ②家畜の受精卵移植に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科：農業

科目：総合実習

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組：才藤 佳代、友光 俊一、松井 英美）

使用教科書：（畜産（実教出版）、動物看護学（緑書房））

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識及び技能】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協動的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	51
	定期考査			○	○		1
2 学期	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識及び技能】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機応変に管理することができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見して対応することができる。 ③飼育動物に関して、調査や情報収集を行い、その結果をもとに考察し、自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物に関心をもち、主体的かつ協動的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。	○	○	○	51
	定期考査			○	○		1

3 学 期	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識及び技能】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 定期考査	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	イヌのトリミング 化学実験 動物関連実験 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ③動物の特性や習性について理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や生物実験を理解し、それ	○	○	○	35
				○	○		1
							合計

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 農業 科目 動物基礎

教科： 農業 科目： 動物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 H1 組～ F 組

教科担当者： (H1、H2、F組：松井英美)

使用教科書： (なし/副教材として自作のプリント)

教科 農業

の目標：

【知識及び技術】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 動物基礎

の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身につくように自ら学んでいる。農業の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>「主要な社会動物の種類と飼育管理」</p> <p>【知識及び技能】 社会動物の種類や品種や特性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会動物の種類や特性について興味・関心を持っている。 【学びに向かう力、人間性等】 社会動物が人間社会のどのように関わっているか関心を持っている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：社会動物の種類動物飼育の心構え ②講義：動物飼育の心構え ・教材：自作プリント ③観察：本校で飼育している社会動物の種類の確認・観察</p>	<p>【知識・技術】 さまざまな社会動物の種類やその特性について基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会動物の種類や特性に興味・関心を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 観察を通じて本校で飼育している動物の特徴や性質について関心を持ち、探求心を持っている。</p>	○	○	○	5
	<p>「モルモットの種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 モルモットの品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 モルモットの性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 モルモットの基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：モルモットの分類と種類 ②講義：モルモットの特性 ③実習：モルモットの飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 モルモットの品種に興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 モルモットの種類や特性に興味・関心を持っている。 性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 モルモットの基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	8
	<p>「フクロモモンガの種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 フクロモモンガの品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 フクロモモンガの性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 フクロモモンガの基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：フクロモモンガの分類と種類 ②講義：フクロモモンガの特性 ③実習：フクロモモンガの飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 フクロモモンガの品種に興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 フクロモモンガの種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 フクロモモンガの基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	10
	<p>「イヌ・フェレット・チンチラの種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 イヌ・フェレット・チンチラの品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 イヌ・フェレット・チンチラの性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 イヌ・フェレット/チンチラの基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：イヌ・フェレット・チンチラの分類と種類 ②講義：イヌ・フェレット・チンチラの特性 ③実習：イヌ・フェレット・チンチラの飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 イヌ・フェレット・チンチラの品種に興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 イヌ・フェレット・チンチラの種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イヌ・フェレット・チンチラの基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査				○	○	
2 学期	<p>「ヨウム・小鳥の種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 ヨウム・小鳥の品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨウム・小鳥の性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨウム・小鳥の基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：ヨウム・小鳥の分類と種類 ②講義：ヨウム・小鳥の特性 ③実習：ヨウム・小鳥の飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 ヨウム・小鳥に興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ヨウム・小鳥の種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨウム・小鳥の基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	12
	<p>「爬虫類の種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 爬虫類の品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 カメ・トガダ・ヘビ類の性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 カメ・トガダ・ヘビ類の基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：爬虫類の分類と種類 ②講義：爬虫類の特性 ③実習：カメ・ヘビ類の飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 爬虫類に興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 爬虫類の種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 爬虫類の基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	12
	定期考査				○	○	
3 学期	<p>「ニワトリの種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 ニワトリの品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ニワトリの性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ニワトリの基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：ニワトリの分類と種類 ②講義：ニワトリの特性 ③実習：ニワトリの飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 ニワトリに興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ニワトリの種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニワトリの基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	5
	<p>「ハムスター・ハツカネズミの種類と特性」</p> <p>【知識及び技能】 ハムスター・ハツカネズミの品種と特性について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ハムスター・ハツカネズミの性質に合わせた適切な飼育管理を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ハムスター・ハツカネズミの基礎的な知識と技術を身に付けるとともに、品種に応じた飼育管理ができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①講義：ハムスター・ハツカネズミの分類と種類 ②講義：ハムスター・ハツカネズミの特性 ③実習：ハムスター・ハツカネズミの飼育管理 ・教材：自作プリント</p>	<p>【知識・技術】 ハムスター・ハツカネズミに興味を持ち、品種やその特性についての基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ハムスター・ハツカネズミの種類や特性に興味・関心を持っている。性質に合わせた適切な飼育管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハムスター・ハツカネズミの基礎的な知識を身に付けるとともに性質や年齢に応じた飼育管理ができる。</p>	○	○	○	5
	定期考査				○	○	
				○	○		合計 70